

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公開番号】特開2002-303438(P2002-303438A)

【公開日】平成14年10月18日(2002.10.18)

【出願番号】特願2002-99318(P2002-99318)

【国際特許分類第7版】

F 2 4 F 7/06

F 2 4 F 6/00

F 2 4 F 6/04

【F I】

F 2 4 F 7/06 C

F 2 4 F 6/00 Z

F 2 4 F 6/04

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月1日(2003.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

図6に示すように、第3の実施の形態の空気調和装置における熱交換水供給装置10では、熱交換水循環ポンプ11から流路21に圧送された熱交換水は各熱交換器7A, 7B, 7Cの水入口ヘッダ(図示せず)に供給され、各熱交換器7A, 7B, 7Cの水出口ヘッダ(図示せず)から流路22, 24を通って熱交換水循環ポンプ11の吸い込み側に戻るようになっており、流路24には流路26を介して熱交換水を補給でき、流路22から流路27を介して熱交換水を流路22から流出させることができるようになっている。尚、図6において符号19は開閉弁である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

流路27には第1の実施の形態のものと同じように純水の補給水量を制御する第2制御弁14が設けられている。

熱交換水循環ポンプ11の駆動モータ(図示せず)はモータ回転数を可変にするインバータを装備しており、この駆動モータの回転数を温度センサ30の検出値に基づき温度指示調節計31を介して制御し、熱交換水の流量を自動制御している。つまり、第3の実施の形態では温度指示調節計31と熱交換水循環ポンプ11が熱媒体供給量制御手段を構成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【符号の説明】

- 1 クリーンルーム（クリーンエアの循環経路）
- 3 下部リターンプレナムチャンバ（クリーンエアの循環経路）
- 4 リターンシャフト（クリーンエアの循環経路）
- 5 上部リターンプレナムチャンバ（クリーンエアの循環経路）
- 7 热交換器
- 7 c コイル（ジャケット）
- 1 2 第1制御弁（热媒体供給量制御手段）
- 1 4 第2制御弁（热媒体温度制御手段）
- 1 1 热交換水循環ポンプ（热媒体供給量制御手段）
- 3 0 温度センサ（温度検出手段）
- 3 1 温度指示調節計（热媒体供給量制御手段）
- 3 2 露点センサ（湿度検出手段）
- 3 3 露点指示調節計（热媒体温度制御手段）
- 4 0 純水滴下装置（純水供給装置）